

選択：泌尿器科

I. 目的と特徴

本プログラムは、泌尿・生殖器系疾患の基礎知識及びそれに対する基礎的臨床技術を身につけることを目的とする。この研修により、将来他科を専攻した場合でも、泌尿器科関連疾患に対し、適切に診断しプライマリ・ケアを行うことが可能となる。

II. 医師リスト

研修指導責任者： 寺 井 康詞郎
指 導 医： 高 山 孝一朗
上 級 医： 佐 藤 博 美

III. 研修内容と到達目標

1. 研修内容

医師臨床研修制度指針に準拠し、泌尿器科関連疾患を中心に研修を行い、基本的知識、技術、態度を修得する。

2. 経験目標

(1) 経験すべき診察法、検査手技

- ① 医療面接
- ② 基本的身体診察法(触診、直腸診など)
- ③ 基本的臨床検査(超音波検査など)
- ④ 基本的手技(導尿、膀胱洗浄など)
- ⑤ 医療記録
- ⑥ 診療計画の立案

(2) 経験が求められる疾患、及び病態

慢性腎不全、急性腎不全、腎癌、尿管癌、膀胱癌、前立腺癌、腎結石、尿管結石、前立腺肥大症、尿路感染症、水腎症、結石性疝痛、膀胱タンポナーデ、尿閉など

3. 到達目標

(1) 診察、診断

- ① 適切な問診と病歴の記載ができる。
- ② 問診から疾患群を想定することができる
- ③ 泌尿・生殖器の理学的検査ができる。

- ④ 各種検査を理解し、判定できる。
- ⑤ 各種X線検査（KUB、DIP、RP、CG、UVG）、CT、MRI、超音波検査の基礎的手技、評価を理解する。
- ⑥ 慢性腎不全の病態が理解できる。
- ⑦ バスキュラーアクセスカテーテルの挿入手技（中心静脈栄養含む）ができる。
- ⑧ 個々の患者の水・電解質代謝の病態が理解できる。

（2）治療

- ① 疾患に応じた基本的治療方針を理解する。
- ② 患者への病状及び治療計画の説明の基礎を習得する。
- ③ 尿閉、無尿に対応できる。
- ④ 尿路感染症の管理ができる。
- ⑤ 泌尿器悪性腫瘍の補助的治療と合併症への対応を知る。
- ⑥ 緩和ケアの経験を持つ。
- ⑦ 慢性腎不全（血液透析、腹膜透析）の管理。

（3）手術

- ① 術前
 - 1) 術前処置の理解
 - 2) 体位の理解と実践
- ② 術中
 - 1) 腎、尿管、膀胱、前立腺などの開腹手術への参加
 - 2) 経尿道的内視鏡手術の原理、機器の構造を理解する。
- ③ 術後
 - 1) 全身及び局所管理を理解する。

IV. 週間スケジュール

月・水・金	8:30～ 病棟回診、透析センター管理	14:00～ 手術（月・水） 13:00～ 手術（金）
火・木	8:30～ 病棟回診、透析センター管理	午後 腎瘻カテーテル交換 前立腺生検、膀胱鏡等の検査